

物置&物干し小屋の製作

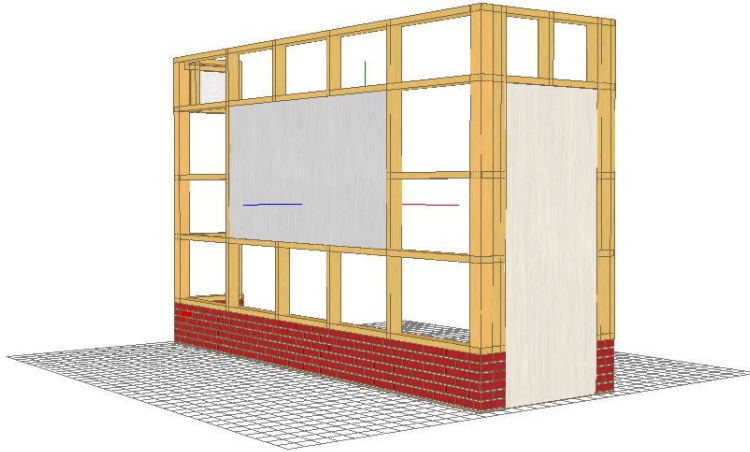
コンセプトとしては

- ・ なるべく機械を使って隣近所に迷惑をかけない
- ・ 簡単な方法で一人で作業が出来る
- ・ 組み立て 変更が容易に出来るほかの人にでも出来る
- ・ 後で使用しなくなったとき部屋にも改造できる
- ・ 一般の材料を使用し特殊なものは使用しない
- ・ 安全であること

これらを頭において設計・製作いたしました

設計には、もでりんV3を使用しました。正確に直角、45度が切れる事、ライフ HP の木工講座を参考に製作してみました。

今回木工の切断にはライフソーのみで電動工具は一切使用しておりません。



今回は家の裏に有るテラスを物干し小屋に改造します 黄砂 中国から飛んでくる PM2.5 台風 長い雨など外に洗濯物を干すのに安心して干せるように改造です(^_^)

今回は隣 近所が有るので 出来るだけ機械で工作する音を出さずにやる作業に徹してやることになります ここで岡田金属さんのノコ大変活躍いたしました (^_^)v

完成重量は 1t以上になりますので 小屋の下はコンクリート 土台となるブロックではカットするときの音 切断時の粉 大きさの問題で 腰の高さの調整が容易なレンガを使用することになります。

レンガの方が加工が楽と言う事でレンガをアイテムに入れております

建物は基本的 2×4 3650 10 本 柱となる 9 センチ×9 センチ 2m 3 本

これだけです 外回りはポリカーボネイト 7 尺 8 枚の波板を使用します

本体は幅 3620×高さ 2310×奥行 1110 とかなり大型のものになります(^_^;)

後は**ものでりんV3**を使用して図面を起こします。



ここに部屋を作ります まず始めに雨水槽と汚水槽が 邪魔になりますのでここから作業開始です(‘_’)

体力勝負です 部分的に掘っても移動が出来ませんので その槽につながっているパイプ部分を全体を掘り起こします



ただひたすら掘ります……

下にパイプが有りますので手荒なことが出来ません(・_・:)

使用している道具は 100 円ショップに有る

三角のジョレンと練るときに使うジョレン

後はテミです……

音は出ませんが 腰が……(>_<)



まず丁度 土台となる 下にきてる槽の高さを変えずに
移動させます 今回は右と左に別れて配置します
ここで使用したのが 岡田金属さんのエンビ用
パイプソー 大変よく切れます(^_^)v
パイプを槽に取り付けて中でカットする時も大変細いので楽です(^^♪
ノコの写真後で撮ります



槽の移動は完了しましたが 奥に見える土の山・・(・_・:)



掘っていると こんなものまで出てきました・・(・_・:)
埋めて 隠すと言う事も出来るそうですが・・・(-.-)



埋め戻して 全体を水平にします
土の山が 半分ぐらいになりましたが・・・(_ _ ;)

後は ある程度 土盤はしめて 雨が 降って自然に締まるのを待ちます その間 放置です(^ _ ^)



掘ってると給湯器の止水栓が現れてきました(° _ °) ここでも
100パイのエンビを切って高さの再調整
ここでもパイプソーよく切れます
後でポリカーボネイトもこのパイプソーで切断します



もでりんでの図面上 柱がくる予定なので 雨樋が邪魔になります このカットともパイプソー 役に立ちます(^ _ ^)v
図面が有ると色々な事が分かります 行き会いばかりでは出来ませんネ！
(^ _ ^)



横にエルボーを使用して逃がしてあります



これで柱が来る所を確保です(^_^)



止水栓のフタも買ってきたので忘れずに取り付けて水平を出します 全体の槽のバランスを見て高さ調整しないと
そこだけ 飛び出たり へこんだりします
ここまで 水平に綺麗にしたので コンクリートを張ります コレが後で大変な
ことに・・・^_^;



しかし今回は地中から沢山の物が出て来ました
造成して建売だったので仕方ないかも・・・(・_・;)



やっと水平が出ました水系を張ってコンクリートを張る計算をしないといけません

計算は小学校いらいで 縦×横×高さ?(..?)

セメント何個？砂？砂利？何個(?!?)

はい はっきり言って全然分かりません！^_^;

でもやるしかないので 計算します

生コン車は頼めませんので ひたすら一人で

コネコネしてやっていきます



一日で朝から夜まで人力で練るのは 60 リットルの練る箱で 40 リットル 6 杯が限度です (60 リットルの箱で 60 リットル練れません！キッパリ！)練ると 45 分以内ぐらいには均して 仕上げをしないと いけません！

コレが大変な作業で お昼ご飯を食べる暇もありません・・・おまけに最初の練ったコンクリートが乾かないうちに次を作りますから休んでる暇がありません！ 丁度 写真奥が水が両サイドに分かれる高さの所に して有りますのでここで 一日の作業終了と言うことですが 下を向いてセメントを練る作業・・・

腰が………！

翌日は全身筋肉痛!(>_<)



ハイ！ ここがつなぎ目です
一週間に一度しか休み有りませんので 二週間かかりました・・・
一人で手練ですので 音は静かですが 何とも
腰がくの字に曲がって伸ばすとき いたいなのんのって！ (/_;)
当分生コン打ちはやりたくありません・(T_T)/~~~



ここからが もでりんの図面が有りますので それにしたがって 作業を進めていきます
何か 基本となる物が有ると作業は早いです
材料にも無駄がありません(^_^♪



レンガですが 指定個数+やってる時壊してしまう個数で 少し多めに購入しておきます(^_^;)
アンカーは最近の工事ではかならず入れるそうです(._.)
全部が大体そろっているか一度 仮組みをしてみます



左が仮組みした状態です レンガですと他の物と高さを合わせる時 ブロックほどの厚みが無いので 調整が楽です
後 加工する時も レンガタガネを使用すると 近所迷惑にならず仕事之乐です
切断時の粉も舞いませんで良いです(^_ ^)v



これが本体の土台となる所ですから 慎重に
何度も寸法を確認しておきます(-.-)



一番下の段の底の部分は内部最終仕上げの高さの仕上げ高さとなりますので 少し高くなります 後は9ミリづつのメチになります
3段ぐらいで一日を終了します 理由は 一度に沢山積むと重みでねじれてしまうためです
ブルーのシートはレンガを水につけているところです。



今度はいよいよ天場の仕上げがありますので水平 寸法合っているか確認しておきます(・.・;)



ここはドアが来ますのでドアの寸法の確認をしておきます
 入り口の面は定規など当てて真直ぐな面を出しておきます
 ドアを付けた時 調整用スペーサーが入らなくなるから気をつけて調整しておきます



こちら側もきちんとそろえておきます



6 段目が完成したところです ここが水平 もでりんの図面と照らし合わせて寸法に狂いは無いか
再度確認しておきます



図面どおり 出来ています・・・

入り口のドアの来る下はまだドアが届いておりませんのでモルタルは
入れてありません

ドアが届いてから 内部の床面仕上げる時 ドアの下モルタルを入
れます

理由としては 並べく外との段差をなくしたいからです

ここに高さ 20 ミリ前後のモルタルを先に入れておくと後のドアの取り付
け一度ですみます

あまり高くしすぎるとドアが入りません



もでりん材料選別から同じく材料の調達です
 2×4 3650 10 本 90×90 2000 3 本
 上の鉄板は？(・・?)



この鉄板です(?_?)



もでりんの図面から分かったことは こちら側
 丁度換気扇を取り付けする上の辺り一杯に 本体がきますので
 その 部分の雨除けとなります。 ハイ！(^.^)



いよいよ墨入れと 材料カットです
 ライフソー役に立っております
 ゼットソー木工通信で紹介されていた 2×4 定規
 これは墨入れの時 非常に楽でした(^_^)v
 ライフソーは普通のやつとミニの二刀流です
 コーナーのカットはミニの方でほとんどカットしました
 つなぎ手木工通信のやり方で接合してあります
 これも後ほど写真を添付しておきます
 なんとと言っても今回も機械の大きな音がしないので
 安心して作業ができます 体力は最大限使いますが(>_<)
 リール台は作業台として使っております



これが問題の鉄板です
 ここが少し雨に当たる為 少しだけ出してあります。



こちらは 墨入れと防腐剤を塗装して乾かしているところです
 乾くと透明になるのであまりよく分かりませんね～……(^_^;)



ドアがくる方 材料カットが終わりましたので
仮に組み立てて 全体の垂直水平を確認しているところです(°_°)



カンキセン側の方も仮に組み立ててやはり水平垂直
材料のカットに問題ないか確認しておきます(°_°)



窓側の4枚の板はそれぞれの柱のコーナーと抱き合わせとなりますので日
を変えてゆっくり合わせていきます



今回はゼットソー通信様のHP木工講座に有る**相欠き接ぎ**というつなぎ方で 材料の 1/2 で強度を落とさない方法ですが 90 度が正確に切れる事で組み合わせていきますが 柱の部分正面からとサイドから来る木の接合部分両方で抱き合わせてネジ締めますと柱は自動的に垂直に横から来る木は 水平にほとんど修正しなくても出来上がってきていました あらためて関心しております 後脚立に上がって横から本体を 押してみましたがびくともしません！ 少しはグラグラするのかと 思っておりましたが結構頑丈にできてます～(^_^)



前面窓が取り付けのほう側組み合わせ完了です カットパーツは 34 点かな これを後は大きいプラモデルを作る感じで組み立てします 出来上がって形になると 何だかすごく満足感があります 俺だけかな～＼(^o^)／



全体を組み立てて今度は垂直 水平を確認しながらネジで組み立てしていきます



ドア側のほうから見た感じです



ドアから中を見ている感じです この太い竿は38φ 有ります 何でも洗濯名人に聞く話によると洗濯物の中に風を多く通す方が早く乾くそうです。
まだ室内に合わせていませんので 竿が外に飛び出しています
ポリカーボネイト 7 尺 8 枚建具が入る前に仮に取り付けて 窓 カンキセン
ドアと囲ってカットする所の確認をしているところです



これは室内から外を見た感じです
こちら側は窓のところのポリカをカットした残りで貼っていきますので、まだ
こちら側はポリカ貼ってありません

ここでもパイプソー役に立っておりますよく切れます





ドア右の柱は 家との外壁にビスで取り付けしています



換気扇取り付け側 こちらも仮にポリカを白のガムテープで止めて
カットするところを出しているところです



建具が届きました 仮に取り付けして 後からもう一度取り付けしま
す まだドアの下のモルタル入れてない為



ポリカをカットして窓も取り付けしてみます
 こちらはこれで完成となりますので そのまま丁寧に取り付けいたします
 これは図面道理問題は無いようです(^_^)



こちらは窓の取り付けのときポリカをカットした残りで貼る予定です



窓の取り付け水平垂直出ているのでほとんど修正なしで取り付けいい感じです(^_^)



換気扇もポリカをカット フード取り付け



外はこんな感じになります



窓のポリカをカットした残りの部分でドアの上を
順次加工して貼っていきます



窓の下ポリカ カットして取り付けした状態です
ビスが打てるか 心配していましたが ちゃんと
余裕がありました(^_^)v



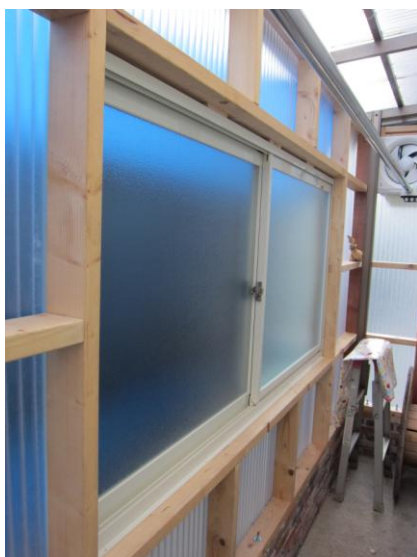
洗濯名人に聞くと 除湿機よりは 扇風機
カンキセンと 洗濯物に風を通した方が より経済的に
乾くという事で 換気扇取り付けしたところです



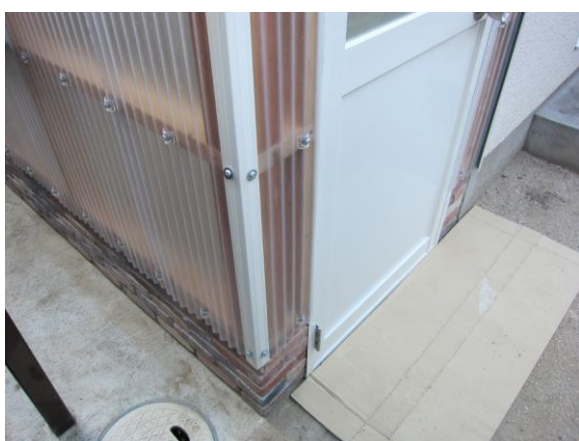
これが扇風機 壁掛け型にしてあります
場所をとらないのでこの形になりました(^.^)
まだ電気配線 してないですが.....(^_^;)



ドアの下に水色のハッポウウレタンが入っていますが
これがドアの下の高さ つまり床仕上げ面の高さとなります
まだ内部の床の仕上げはしていません



建具が入ると 何だか家らしくなります(^_ ^)



コーナーの仕上げに使用しました 後 悪くなったところのポリカを張り替える為 あえてコーナーを取り付けしてあります
基本的に 本体も分解して 悪くなった所を 入れ替えれる設計にして有ります



家側のコーナー、これは家の壁の仕上げ面が真直ぐではない為 入れてあります こうすると全体をばらさなくとも 部分的に修理が楽になっています



前面から見たドア側 水色に見えているのが最後にモルタルを入れて床面を仕上げます



内部に取り付けたい部材がそろい 完成間近です



この写真が良く分かりますかね ドアの下の水色の発泡ウレタンと手前に木がありますがそちらがドアの下の高さとなります

木の高さそのままモルタルを入れていけば床面の仕上がり高さとなります

あまり高くしたくない場合サッシ下だけ先にモルタルお入れ、その後少し下げて全体をモルタルで仕上げにかかります。



こちらが上から見ている写真です

私は後者のやり方にしました



一度サッシの下にモルタルを入れて それが乾いて 内部床面のモルタルを塗りました これが3日目の乾き始めた様子です



いつの間にか内部の電気配線が終了しておりますが
こちらの方が私の本職です(#^.^#)



PF 管を使用して配線してあります 何かの理由で雨にかかっても漏電とか
を起こさないようにして有ります。(^.^)



ハイ！ やっと完成です(^_^)v
正面からの写真 丁度 手前に
ゆずの木が有る為 どうしても こんな感じのアングルになってしまいます
(-.-)



こちらが換気扇側からの写真ですこちらも
隣との間に 波板が立て掛けて有りますのでこんな感じで
全体が入りません どうも建てる物体が大きかったようですね！(>_<)



お世話になった 岡田金属さんの写真ですが全体をある程度入れて 撮るとこんな感じで 何があるか分かりません(._.)
ハイ！ この台は？？ 写真を撮るために 作った訳ではなく
この中に 置くものの台となります これももでりんを使用して
製作して有ります ファイルも載せておきます。



ゼットソー通信様のHP木工講座に有る**相欠き接ぎ**という方法ですね 各相手の木に対して きちんと合うように 材料選別の中で一番厚みが有るものを加工して 各ジョイントを切り出しました こうすると 組み立てのとき 相手に対して すんなり入りますから 作業は楽です 狭いと
たいて入れないといけないし 後外して加工する時 大変楽です(^.^)



ハイ！これが乾燥機台です 純正の台では
少し低かったので こちらを製作いたしました(^.^) 日〇製です
(^_^)

床の 最後のモルタル入れて ほとんど乾いた
状態 ですかね

やっと完成(^_^)v

作業 小屋の土台から始まりまして 3月頃かな
終わって 乾燥機入れたのが 10月の終わりでしょうか 合計
8ヶ月でしょうか 週一でしか お休みが無いので こんなに長
くかかりましたけれど そんなに長くは かからないと思います
その間 お花見あり ビヤガーデンアリ お盆有り 病院あ
り・・・色々ありましたから～(^_^)

まじめにやれば かなり早かったじゃないかと思います(^.^)



今回 お世話になりました岡田金属工業所様の
道具です 穴を開ける以外は 切断はすべて
この道具で行いました 卓上式電気マルノコも
考えましたけれど この作業を終わると ほとんど
使用しなくなることと隣近所の音の問題でアイテムよりは外して
正解でした 体力と製作の時間は
かかりますが何より自分がノコだけで完成させた
この完成感は作ったその人しか味わえない
大変大切なものをいただいた感じがします
岡田金属工業所様に感謝です
最後まで ご覧いただいて有難うございました。